

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <https://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL : 048-873-0216 FAX : 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「夜空を見上げて」

校長 小長谷 雅彦



2025年1月1日 中尾小屋上より

新年あけましておめでとうございます。昨年の1月1日には、能登半島地震が起こり、新年早々大きなニュースでしたが、今年は穏やかに新年を迎えられました。2025年の干支は乙巳（きのとみ）です。干支は、甲乙で始まる十干（じっかん）と十二支の組み合わせで全部で60通りです。60年で十干十二支（じっかんじゅうにし）が一巡して「もとの暦に還る」ことで還暦というそうです。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているとのことで、この2つの組み合わせである乙巳には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているといえるようです。

さて、関東地方では冬は乾燥して寒い日が続きますが、雲が少なく、きれいな夜空が見えます。夕方の空には、まだ秋の星座が見えています。宵の空では、明るい星が多い冬の星座が目立つようになりました。日の入り後の空には金星、土星、木星が見えます。また、火星が1月12日に地球に最接近します。1月16日には「衝」（火星が地球から見て太陽と正反対の位置にある状態で月でいう満月の状態）となり、ほぼ一晩中好条件で観察できるチャンスが約2年ぶりに訪れます。ただ恒星のように星座早見盤に載っていないせいか、恒星で一番明るいシリウスよりはるかに明るい金星や木星でさえ惑星と気づく人は少ないようです。

私は6つ離れた兄がいます。新しもの好きで今でいうアーリーアダプターの資質がありました。自分のお小遣いで買ったのか、親に買ってもらったのかは覚えていませんが、そんな兄が天体望遠鏡を買い、私が小学生のときに一緒に見せてもらった土星のことを今でも覚えています。小さくて色は白くしか見えませんでしたがおっきりと土星の環も見えました。木星は縞模様が見え、☆形でしか見えませんがその衛星も4つ見えたことに感動しました。（4つまとめて「ガリレオ衛星」と呼ばれています。現在発見されている木星の衛星は95個だそうです）都市部では町あかりで星も見えにくくなっていますが、学校にある望遠鏡でも木星や土星は観察できます。さいたま市宇宙劇場などで観察する機会があったら、ぜひ本物を見てほしいと思います。

いよいよ3学期が始まりました。3学期の登校日は53日（6年生は51日）です。本年も更なる教育の充実、発展を目指し、教職員一同全力で取り組んでまいります。2学期の終業式の下校時には、「さようなら」のあいさつだけでなく、「よいお年を」と多くの子どもたちが元気よく言ってくれました。みんなにとってよい年となりますよう、保護者や地域の皆様、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。